

資源物リサイクルの現状について

1 古紙

○ゆくえ

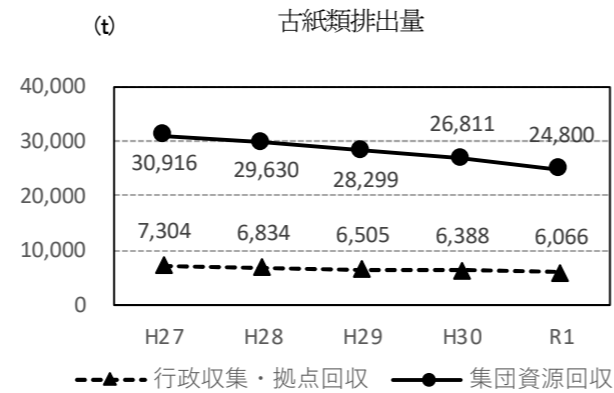
行政収集・拠点回収・集団資源回収に出された古紙 ⇒ 問屋 { ⇒ 国内製紙メーカー
⇒ 商社 ⇒ 海外製紙メーカー

○現状

- ・分別ルールが煩雑で選別コストが大きい。
- ・中国が古紙の品質規制を実施し輸入量を制限。低品質の古紙の輸出ができず、国内では過剰在庫となり、古紙問屋の買取り価格は下落している。

○課題

- ・集団資源回収の回収業者の事業撤退・廃業に起因する行政収集・拠点回収における古紙の増加
- ・本市で回収している古紙類4品目（新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、紙パック）のうち、雑がみのリサイクルが困難になってきている。
- ・古紙売却益の減少による新たな予算措置の必要性。



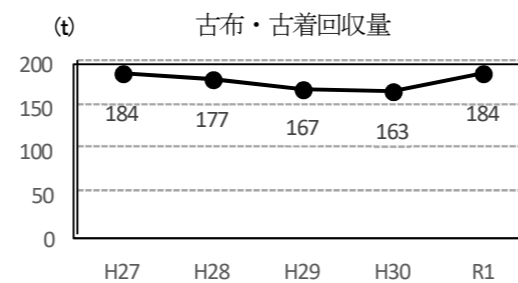
2 古布・古着

○ゆくえ

拠点回収に出された古布・古着 ⇒ 問屋 ⇒ 商社 ⇒ 選別工場（韓国）
⇒ 古布・古着市場（東南アジア）

○現状

新型コロナウイルス感染症の影響から、海外への輸出ができず、5月11日から回収停止。



○課題

再開の見通しが立たない。

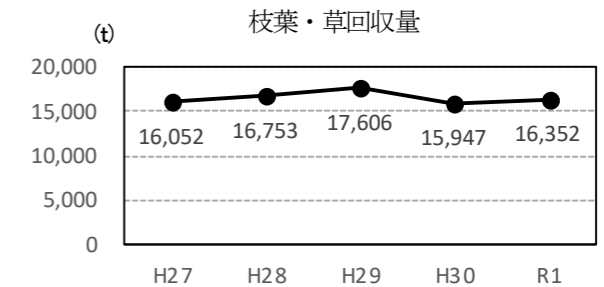
3 枝葉・草

○ゆくえ

行政収集・自己搬入に出された枝葉・草 ⇒ 民間工場 ⇒ たい肥・木質チップ

○現状

民間委託により資源化しているが、異物の混入と排出量の増加により、選別や処理に負担がかかっており、受け入れが困難になってきている。



○課題

- ・民間委託の受入れ先の確保が困難になってきている。
- ・資源化に係る委託料の増加が懸念される。

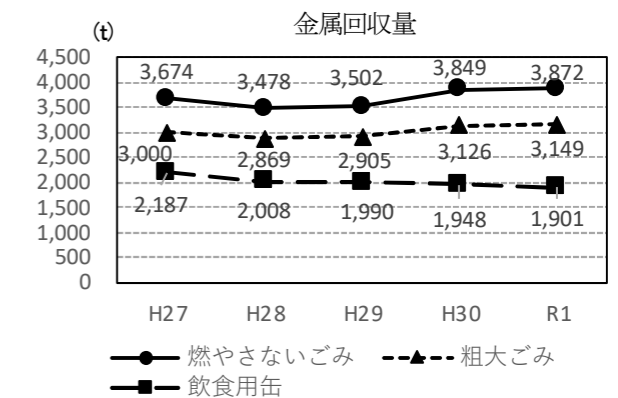
4 金属

○ゆくえ

燃やさないごみ・粗大ごみ・飲食用缶など { ⇒ 処理施設 ⇒ 民間工場 ⇒ アルミ・鉄など
⇒ 民間工場 ⇒ アルミ・鉄など

○現状

- ・飲食用缶をプレスしたアルミ・鉄など純度の高い金属は売却し、民間工場で資源化されるが、売却価格が下落している。
- ・燃やさないごみを破碎した際に出る鉄やスプレー缶などの純度の低い鉄くずなどは、市況の停滞から売却が困難となっており、令和2年度から民間委託により資源化している。



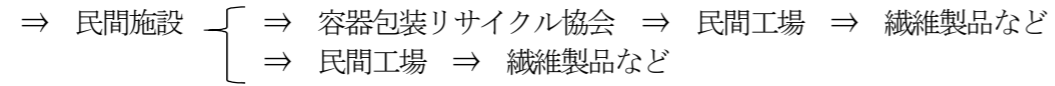
○課題

資源化に係る委託料の増加が懸念される。

5 ペットボトル

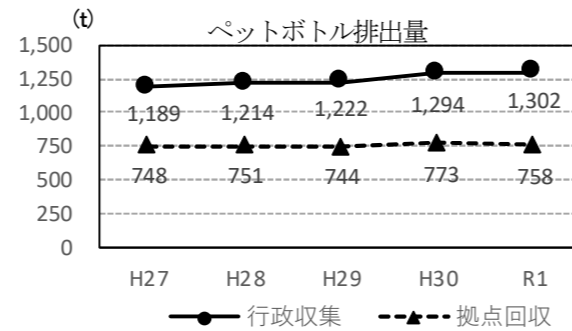
○ゆくえ

行政収集・拠点回収に出されたペットボトル



○現状

- ・海外でのペットボトル需要の減少から、買取り価格が下落している。
- ・飲料メーカーでは、海洋プラスチック問題などから、アルミボトルへの切替えの動きもある。



○課題

中間処理費用に多額のコストがかかっている。

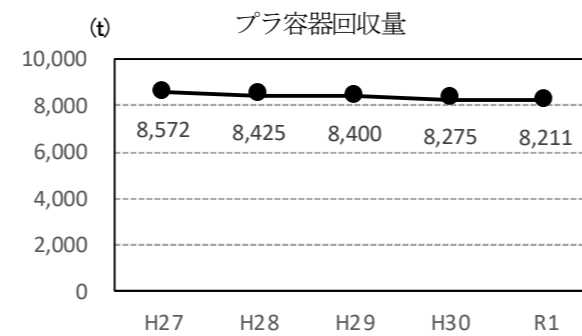
6 プラマーク容器包装

○ゆくえ

行政収集に出されたプラマーク容器包装 ⇒ 民間施設 ⇒ 容器包装リサイクル協会
⇒ 民間工場 ⇒ プラスチック製品の材料

○現状

- ・分別ルールが煩雑で選別コストが大きい。
- ・大部分はプラスチック原料となっているが、一部は製鉄業者の高炉の助燃材となっている。



○課題

中間処理費用に多額のコストがかかっている。

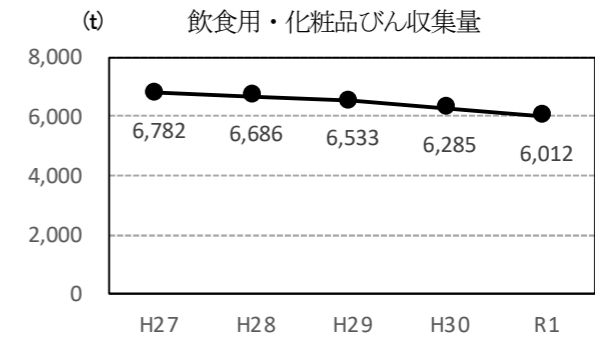
7 ガラス

○ゆくえ

行政収集に出された飲食用・化粧品びん ⇒ 民間施設 ⇒ 容器包装リサイクル協会
⇒ 民間工場 ⇒ びん

○現状

民間委託の受入先が1事業者に限定されている。



○課題

現委託事業者の受入れが困難となった場合、市外事業者への委託にならざるを得ない。(経費増)